

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2010-240461(P2010-240461A)

【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-043

【出願番号】特願2010-142326(P2010-142326)

【国際特許分類】

A 47 C 1/026 (2006.01)

F 16 C 11/04 (2006.01)

F 16 C 11/10 (2006.01)

F 16 D 41/18 (2006.01)

【F I】

A 47 C 1/026

F 16 C 11/04 F

F 16 C 11/10 E

F 16 D 41/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月6日(2012.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

第1アーム(1)と第2アーム(2)とを第1軸心(C<sub>1</sub>)廻りに揺動可能に枢結して、該第1アーム(1)と第2アーム(2)を、最大展開状態と最大折り畳み状態との間ににおける任意の傾斜角度に維持させる角度調整方法に於て、

上記第2アーム(2)には、上記第1軸心(C<sub>1</sub>)を中心とした円弧線に沿って複数の歯を有するギア部(4)を形成し、

上記第1アーム(1)側には、上記第1軸心(C<sub>1</sub>)を中心とした上記ギア部(4)よりも外方側位置に、くさび面(8)を形成して、該くさび面(8)と、上記ギア部(4)の外周歯面との間において空間部を形成し、

内方側の面に複数の歯から成る歯面(7)を有する浮動くさび部材(6)を、上記空間部内に移動可能に配設して、該浮動くさび部材(6)の該歯面(7)の複数の歯を同時に上記ギア部(4)に噛合させると共に該浮動くさび部材(6)の外方側の当接面(9)を上記くさび面(8)に当接させて、ギア部(4)とくさび面(8)との間に挟まれた浮動くさび部材(6)のくさび作用により、第1アーム(1)と第2アーム(2)が第1軸心(C<sub>1</sub>)廻りに展開方向へ揺動することを抑制して、上記任意の傾斜角度に維持させることを特徴とする角度調整方法。